

書籍貸出心得

(目的)

1. 大切な書籍を多くの方々に読んでいただくための活用方法や広報のあり方等を明示し、さらに書籍の紛失を防止しするための管理に関する心得をここに設ける。

(活用方法)

2. 活用方法は次の2種類とし、無料とする。

(1) サイドストーリー（地域交流室）で書籍を読む

- ① サイドストーリーが開いている時間帯に提供
- ② サイドストーリー営業時間中に来店している方すべてが対象

(2) 書籍の貸出を行う

- ① 2週間の期限を設け貸出を行う
- ② 1回あたり貸出できる書籍の数を3冊までとする
- ③ 貸出に関することは次条による。

(貸出時間)

3. 下記の時間帯で貸出業務を行う。(当面は、法人本部が担当)

- ① 平日 9:00～18:00
- ② 毎月第1と第3土日 9:00～12:00

(第2、第4、第5土日と祝日は休み。また、年末年始は休み 休みについてはHPに掲載)

(貸出対象者)

4. 別添様式1の登録と様式2「返却のお願い」のハガキを記入していただける方を貸出しの対象者とする。(ハガキは有料)

*ハガキは概ね3週間後までに書籍が返却されなかった場合に投函を行い、返却をお願いするために活用

*様式2のハガキは書籍が返却されても、様式1の登録を継続する場合は引き続きサイドストーリーで保管をする。

(貸出の方法)

5. ①貸出を希望する方は様式1に必要事項を記入し登録を行い、様式3「返却のお願い」のハガキ2枚に住所を記入。そのハガキは本部職員が保管しておく。

②借りたい書籍が決まったら、様式2に書籍名、著者、貸出期間（2週間後）と氏名を記入し本部職員に確認をしてもらい持ち出しを行う。

*サイドストーリーが地域活動支援センター（地活）として、運営できるようになった場合これらの業務は地活の職員が行う。

（返却）

6. 2週間後までに貸出本を返却

②概ね3週間過ぎても本が返却されない場合は、4条のハガキをだし返却の促しを行う。

（広報）

7. 新刊本やおすすめ本を輝望会HPで記事として取り上げ、貸出の広報を行う。

（本の寄贈のお願い）

8. 下記の書籍については寄贈を求める

①芥川賞や直木賞受賞作品（過去分も含む。単行本、文庫本どちらもでも可能）

②本屋大賞第3位以内の作品（過去分も含む。単行本、文庫本どちらもでも可能）

③専門書（できましたら2015年以降に発行されたもの。古くても2010年以降のもの）

④児童書

⑤絵本

（寄贈本の提出場所）

9. ①寄贈者には書籍の表紙の裏あたりに認印を押してもらい、各事業所や直接本部に持ってきてもらう。場合によっては自宅等に取りに伺う。

②各事業所は、寄贈者氏名を記したものと書籍を一緒に適宜本部に届ける。

（寄贈本にスタンプ）

10. 寄贈本や新規に購入した本には「社会福祉法人輝望会所蔵」のスタンプを押し、輝望会の所蔵本であることを明示する。

（感染症対策）

11. C&Cに来たら、外の手洗い場で手を石鹸で洗い、消毒を行う。

②書籍コーナー（サイドストーリー）の入口で検温し計測し37度以上の場合は入室をしない。

③書籍を触ったあとも消毒等を行う。

④アルコール消毒が可能な書籍については、返却時にそれを行う。

（読書時の注意事項）

12. 書籍を読むときには下記事項を守る。

①食べながら読書はしない。（飲みながらも要注意）

②本のページを折らない。（葉がわりにしない）

③読み聞かせをするときにはマスク着用

様式 1

書籍貸出登録票

氏 名			
住 所	〒 ー		
電 話		携 帯	
メ ー ル			
所 属 等			
備 考			

様式 1

書籍貸出登録票

氏 名			
住 所	〒 ー		
電 話		携 帯	
メ ー ル			
所 属 等			
備 考			

書籍返却のお願い

いつもC&Cきぼうの書籍コーナーをご利用ありがとうございます。
下記の書籍がまだ返却されていないようですので、返却をお願いいたします。

尚、このハガキと行き違いになりましたらご容赦をお願いいたします。

本部電話055-969-0225

書 籍 名	返却予定日

*返却方法

1. 輝望会関連事業所に所属の方
所属事業所に返却可能です

1. 一般の方

すみませんが、C&Cまで返却願います。

①C&C緑の扉前(本部)にある郵便ポストに入れ返却
できます。

②平日の9時から18時までか、第1と第2土曜日の9
時から12時までは図書コーナーが開館していますの
で、そちらに返却願います。